

維持の時代に活躍を

福井県
コンクリ診断士会発足

初代会長に石川氏

福井県コンクリート診断士会の設立総会がこのほど、県職員会館で開かれ、初代会長に石川裕夏氏



石川 裕夏氏

総会では、役員として副会長に友竹博一氏（メンテナンス調査設計）、監事に平井学氏（飛鳥建設）を選任。就任あいさつに立った石川氏は「コンクリートの維持が社会のニーズになっている。今こそ診断士の活躍する場を開拓し、存在価値を高めていきたい」と抱負を述べた。

このほか、当日は同会会則や04年度事業計画案、同予算案を承認。04

年度事業計画としては、官公庁などに対する「コンクリート診断士」資格制度の普及、新規入会促進などを行うことを決めた。

社団法人日本コンクリート工学会協会が認定する同診断士は、コンクリート構造物の劣化状態を正確かつ多角的に診断し、適切な維持管理を提案する役割を担う。

役員を除く会員は次の方々（敬称略）。

高橋和男、吉村美徳（以上、福井宇部生コンクリート）、中川信治、濱岡弘三、原幹夫（以上、日本ピーエス）、板東慎一（嶺南ペンカ生コン）、三村友男（前田工織）、宮本克彦（関組）、山崎修一（サンワコン）、山崎浩一（福井県生コンクリート工業組合）。



13人で発足した福井県コンクリート診断士会